

茶病害虫防除情報

【第 16 号】

令和元年 10 月 11 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

最近発生が多い

秋整枝後の輪斑病防除対策

秋芽生育期の 8 月は今年も猛暑の天候が続き、後半は相次ぐ台風接近や秋雨前線の影響で、雨天日がやや多くなりましたが、秋芽の生育・充実は概ね良好のようです。

愈々秋整枝(秋番茶収穫)が始まりましたが、今後秋の気温も高くなる恐れがあります。今回は気温が高い時に発生しやすい輪斑病の秋整枝後防除対策についてお知らせします。

☆ 秋整枝後の輪斑病発生について

輪斑病は主に二・三番茶の摘採後に発生しますが、最近では秋整枝後にも年によっては発生がみられ、充実した秋芽の成葉を痛め、一番茶への影響も懸念されます。輪斑病菌は高温を好みますので、秋整枝時の気温が高く、雨が多いと発生が多くなります。また、輪斑病菌は硬化した成葉でも整枝による切口などの傷口から感染し、発病します。

今年の秋芽生育期(8 月)は気温が高く、降雨は後半に多い気象で「やぶきた」園などでは、炭疽病、新梢枯死症など病害の発生はやや多い状態です。これから秋整枝時期の 10 月の気温は平年並みか高く、降雨は平年並みの気象予報となっています。このため秋整枝後に輪斑病発生の恐れがあります。感染源となる輪斑病葉の多い園や新梢枯死症発生が多くみられる園については注意し、防除対策をすすめてください。

☆ 秋整枝後の輪斑病防除対策

輪斑病菌は秋整枝による葉や茎の切口から感染し、雨の日や茶園が濡れている状態での作業で感染しやすいので、できるだけ雨天時の整枝作業は避けてください。

薬剤防除は輪斑病防除の基本である整枝後できるだけ早く(3 日以内)行います。防除薬剤でアミスター 20 フロアブル、リア WDG、フロントフロアブル 25 などストロビリン系薬剤は耐性菌が発生している地域、園があり、また、トップジン M 水和剤などベンゾイミダゾール系薬剤もいまだ高率に耐性菌が残存していますので、効果は期待出来ない恐れがあります。このため、今回は整枝直後散布すると効果があるダコニール 1000、テプロスフロアブル、フロンサイト SC などでの防除をお勧めします。

☆ 秋整枝後の輪斑病薬剤防除法

防除時期	防除薬剤	使用濃度	使用時期・回数	注意事項
秋整枝 3 日後 まで	アミスター 20 フロアブル	2000 倍	14 日前 3 回	1、アミスター 20 フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 フロントフロアブル 25 はスト ロビリン系薬剤耐性菌 発生園では使用しな い。
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000 倍	7 日前 1 回	
	カスミンホルトー	1000 倍	30 日前 1 回	
	テプロスフロアブル	1000-2000 倍	14 日前 2 回	
	ニマイバー水和剤	1000 倍	14 日前 1 回	
秋整枝直後	ダコニール 1000	700-1000 倍	10 日前 1 回	
	フロンサイト SC	2000 倍	14 日前 1 回	